

総合診療医が答える

# 「こんな症状や疑問 持っていませんか？」

## 第19回：「よく皮膚がかゆくなるんですが？」

このシリーズでは総合診療医が患者さんからいただいた質問をもとに市民の皆さんが困っている症状や疑問について解説します。



先日いただいた質問はこれです。

### 「よく皮膚がかゆくなるんですが？」

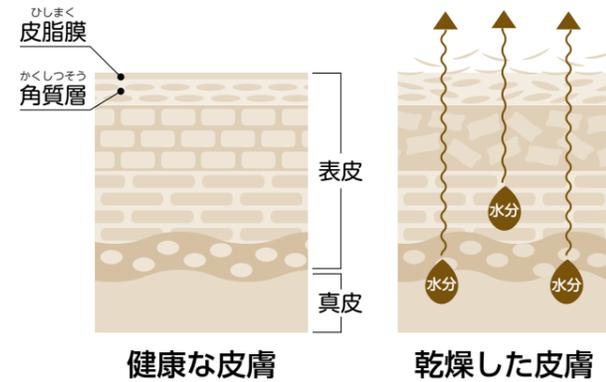
皮膚のかゆみは多様な原因で起こります。急に始まった場合や全身に広がる場合は、危険な病気の可能性があり、医師の診察が必要です。一方で、なんとなく皮膚の一部がかゆくなって、それがいろいろなところに起こることがあります。その中で最も多いものとして、「皮膚掻痒症」というものがあります。

「皮膚掻痒症」は皮膚の表面の保湿因子が少なくなり、皮膚の表面が乾き、その乾きがかゆみを起こします。誰でも毎日、皮膚のどこかがかゆくなることを経験すると思います。その多くが、この「皮膚掻痒症」による可能性があります。年齢に関係なく、栄養バランス不良、睡眠不足、精神的ストレスや気候の変化が皮膚掻痒症を起こすことがあります。

その中でも、最近よく相談を受けるのが、高齢の方の皮膚掻痒症です。年齢を重ねることによって皮膚の環境が変わり、皮膚掻痒症を起こしやすい状況になります。この状態を根本的に変えることはなかなか難しい

いですが、かゆくなりやすい部分に対して、保湿に努めることによってその予防につながります。薬局などにある保湿剤を定期的に塗布することで保湿することができます。さらに、規則正しい生活習慣や定期的な運動を行うことによって、多くの皮膚の状態は改善するとされています。

これから秋になると、皮膚が乾燥しやすい季節になりますので、保湿に努め、「皮膚の健康」を保ってきたいですね。



健康な皮膚

乾燥した皮膚

今回いただいたタオル帽子は、同会の活動に賛同されたJAしまね雲南地区本部女性部の皆さんが、この帽子を必要とされる患者さんに使ってもらおうと、思いを込めて一つ一つ手作りで作成されたものです。この帽子は素材がタオル生地であるため柔らかく、吸水性にも優れており、夏場でも気持ちよく着用できるようです。

当院では皆さんの思いが込められたこのタオル帽子を、副作用などに對する不安やストレスを抱えておられる皆さんにお届けしたいと思っております。



▲タオル帽子を手にする一同



▲手作りのタオル帽子

9月27日(月)、島根タオル帽子の会代表、下井直美さん、JAしまね雲南地区本部女性部部長、高橋美佐子さんらから抗がん剤の副作用による頭皮の脱毛などに悩む患者さんにと、タオル帽子30枚を寄贈していただきました。

## タオル帽子の寄贈

# 雲南病院だより

## 新型コロナウイルスワクチンについての

### 知見

市立病院 病院事業管理者 大谷 順

今回当院では新型コロナウイルスワクチン（以下ワクチン）接種後の副反応についての研究を行いましたので、その結果を市民の皆さんにお知らせします。

分かりました。また、抗体価を男女で比較すると、男性の方がやや高いという結果で、既出の報告とは逆でしたが、当院では年齢の高い女性が多く、30代以下だけに絞ってみると女性の抗体価が有意に高いという結果でした（図2）。

さらに副反応と抗体価の関係をみると、発赤、腫脹、硬結、熱感、倦怠、頭痛という副反応が多くみられましたがほとんどが軽症です。各々の副反応の有無と抗体価は有意に連関があり、副反応がある方が抗体価は高い事が分かりました。約75%が二種類以上の副反応を経験しており、副反応の多少と抗体価の関係をみると、図3のように副反応

その結果、抗体ができていく（陽性）と判定された者は373人（95・4%）で、接種者の大部分で抗体が作られていることが分かりました。年代別にみると、図1に示すように20代、30代の若い世代の抗体価が高齢者に比べて統計学的に有意に高いことが

の個数が多い者の方が抗体価は高い傾向にあることが分かりました。また、副反応の多い者は少ない者に比べて有意に年齢が低いことも確認されました。

以上のことから、ワクチン接種で新型コロナウイルスと闘うための武器である抗体が作られることは間違いないようです。そして、若い人は副反応が多いですが、それに見合った形でより多くの抗体が作られていることも確認できました。確かに副反応は好ましいものではありませんが、ほとんどが3日以内に気にならなくなるうえ、「体中の免疫が活性化されて一生懸命に抗体を作っている証」副反応であると思えばワクチン



に対する見方も変わってくるのではないのでしょうか。一日も早く以前のよう暮らしが戻ることを願いながら、ワクチン接種をはじめ、今できることを確実にに行い、そして間違った情報に惑わされないようにヘルスリテラシー<sup>注3</sup>を高めていきたいものです。市立病院はこれからも新型コロナウイルス感染症に限らず有益な健康情報を提供できるよう努めます。

注1…ワクチンを接種することにより体内で作られるタンパク質のこと。これが新型コロナウイルスに付着することによって人の細胞に侵入するのを防ぎ、感染や重症化を防ぐ効果が期待できます。  
注2…抗体が無いよりある人の方が感染や重症化をしにくいという事は分かっていますが、抗体がどれだけあれば十分な効果が得られるかは未だ明らかになっていません。  
注3…健康情報を獲得、理解、評価して活用するための知識、意欲、能力のことを言います。それによって病気の治療や予防、健康増進について正しい判断や意思決定が行え、人生をより豊かなものになります。

